

第 31 回 テレビ高知健康マラソン大会

右城 猛

3月14日の日曜日に開催された高知健康マラソン大会に、家内と兼清芳子さんと3人でマラソンチーム「マイペース」を結成し、出場した。お互いに自分のペースで勝手に走ろうというチーム。

マラソンのコースは、春野総合運動公園の陸上競技場から5km南下し、黒潮ライン(高知県道春野赤岡線)に出て、それを1.7km東に走ると第1給水所。そこから、長浜バイパスを經由して4.3km北上すると第2給水場。進路を西に変えて蒔絵台、南ヶ丘ニュータウンを抜けるとゴールの春野総合運動公園の陸上競技場。全長約14kmのコースである。

参加申込みは3,063名(男子2,191、女子872)。過去最高ということであった。

マラソン大会への出場は、瀬戸大橋開通20周年記念健康ジョギング(8km、2008年4月)、馬路おしどりマラソン大会(3km、2009年9月)、坊ちゃん一緒にらんランRUN大会(10km、2009年11月)に続いて4度目。14kmは初めて。完走できるかどうか不安の中でのチャレンジであった。



7時、早々に受付を済ませ、ゼッケンとチップを受け取る。年代によってゼッケンの色が異なっている。私は男子50歳代の30番。家内は女子50歳代の10番。番号は名前のあいうえお順。



春野総合運動公園の陸上競技場の入り口



8時15分から全員で準備体操

8時30分より開会式。9時スタート。ゴールできるタイムが、1時間以内、1時間30分以内、1時間30分超の3グループに分かれ、速いグループから順番にスタート。私たちは当然、最後のグループに混じって走る。

トラックを半周してから陸上競技場の外に出ることになっているが、最初の1/4周は前が詰まっていて走ることはできない。

陸上競技場を出る頃から少しばらつきだした。最初は「マイペース」の3人が一緒に走っていたが、陸上競技場を出てからは開きが出てきた。すぐに家内の背中が見えなくなったが、私はマイペースを心掛ける。



6.7km 地点の第 1 給水所を 9 時 48 分に兼清さんが通過，1 分遅れて 49 分に家内が通過。



10 時 31 分，南ヶ丘ニュータウンを過ぎ，余裕でゴールの春野運動公園を目指す絹枝さん。



私が第 1 給水所を通過したのは，家内から 5 分遅れの 9 時 54 分。普段の練習で走る距離を既に 3km ほど超過しているが，娘の怜佳の声援にエネルギーをもらう。



10 時 32 分，テクスパンのトンネルを抜け，春野運動公園を目指して力走する兼清芳子さん。



10 時 19 分 長浜バイパスを北上中。高知南環状線の交差点から第 2 給水所の間 1km が心臓破りの坂道。この間だけは歩く。私の前後のランナーも全員が歩いていた。



兼清さんが 1 時間 38 分 34 秒の 2043 位，家内は 1 時間 40 分 25 秒の 2119 位，私は 1 時間 55 分 12 秒の 2506 位でゴール。

娘の怜佳(後列左端)と，怜佳の職場仲間の松岡さきさん(後列左から 2 人目)が，応援に駆けつけてくれた。二人が車でコースを追っかけて写真を撮ってくれた。ご苦労さまでした。

次は，5 月 23 日に開催される小豆島オーリーブマラソン全国大会の 10km にトライする予定。